

子どもたちの一年

生活指導主任 齊藤 隆光

今年一年間の子どもたちの生活の様子を振り返ってみると、良かった点と課題として残った点があります。

良かった点は、暑い日も寒い日も季節にかかわらず、多くの子が外で元気よく遊んでいたということです。運動が得意な子もそうでない子も、休み時間には楽しんで体を動かしています。泰明小では、例年行われている体力テストの各種目の数値も上昇しています。体育の授業もそうですが、日頃の運動や遊びによって基礎体力が養われます。また、心の健康にとっても、体を動かすことは重要な役割を果たします。ぜひ、今後も続けていってほしいと思います。

課題に残った点は、下校時のバスの乗車マナーです。以前に比べると減ってきていますが、まだ学校に苦情が寄せられます。内容としては、おしゃべりがうるさい、優先席を譲らない、出口付近でかたまっている等です。公共の交通機関であることを理解させふさわしい乗り方を身に付けていってほしいと思います。

今後も生活指導面での学校の取り組み方を検討していきます。来年度も引き続き保護者の皆様のご協力をいただきながら、改善していきます。よろしくお願い致します。

もうすぐ2年生

第1学年担任 松崎めぐみ

大きなランドセルを背負い、期待と不安を胸にわくわくドキドキしながら通い始めた泰明小学校。入学式で校長先生に話していただいた「すてきな1年生」を目指して頑張ってきた一年間でした。

給食当番や係活動は「一緒にやろう」と声を掛け助け合いながら「すすんで」仕事ができるようになりました。運動会や音楽会などの大きな行事では、友達と力を合わせて踊ったり歌ったりすることの楽しさを知り、最後まであきらめずに頑張ったり、「てきぱき」行動したりすることの大切さを学びました。学校生活では、朝の支度や着替え・学習の用意など「初めて」のことばかりでしたが、経験を重ね沢山の事が一人でできるようになり、うっかり忘れ物をして「きちんと」連絡帳に書いて次の日に持ってこられるようになりました。

「すすんでてきぱききちんとできるすてきな1年生」に磨きをかけて、小さなみそらの星として輝けるように、残り1ヶ月を過ごしていきたいと思っています。

泰明マラソン

運動委員会 中迫 亮佑

3月6日(火)平成29年度泰明マラソンを実施します。寒さが厳しい中でも、子どもたちは、体育の時間に、朝遊びの時間にと、みんな元気に練習に励んでいます。徐々にマラソン大会に向けて子どもたちの気持ちが高まっていくのを感じます。

今月15日から中休みの時間に、校庭と屋上での本格的な練習も始まりました。全校児童が共に走る姿から、学校全体の一体感を感じることができ、とても清々しいです。

マラソン大会当日のコースは、学校を出発して、外堀通り、コリド一通りと銀座の街を走ります。中学年、低学年、高学年の順番で走りますが、高学年が走った後、今年度は希望児童による更に長い距離1700mコース走もあります。銀座の街を走り抜けるという経験は、泰明小学校の児童だからこそ味わうことのできる貴重な体験の一つです。手洗い・うがい指導等体調面にも気を配りながら、マラソン大会に向けて練習に励む子どもたちを学校全体で応援していきます。

6年生 ありがとう

特別活動部 片桐 淑子

「6年生喜んでくれるかな」「どんなクイズにしようか」「花のアーチの花がやっ」と300個できたね」今、1年生から5年生までが、3月8日、1校時に実施する、「6年生を送る会」に向けて様々な準備をしています。1年生から5年生にとって6年生は、何でも知っていて、優しく教えてくれる頼もしいお兄さんお姉さんです。

6年生は、入学式の準備から始まり、学校に慣れない1年生のお世話、毎日の校旗・国旗の掲揚、行事の会場づくり、保護者会のパイプ椅子設置、地域別班でのまとめ役、縦割り班清掃のリーダー、運動会での審判や用具など様々な係の仕事、委員会活動、クラブ活動など、全校のために日々活動をしてきました。お世話になった6年生に感謝の気持ちを示し卒業をお祝いするために、代表委員会で話し合い、「6年生を送る会」を行います。今まで縁の下の力持ちだった6年生は、当日、主役として一人一人名前を呼ばれ、花のアーチを通りひな壇にのります。各学年が6年生のために計画したり作ったりしたもので、6年生に「ありがとう」の気持ちを表します。